

# 岩手県職労

月2回刊=1605号  
2022年7月15日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジロー印刷企画 一部 40円 組合員購読料は組合費に含む

## 定年65歳に引き上げへ

### 2023年4月施行に向け労使協議スタート

7月6日、当局は岩手県地方公務員共闘会議（議長代：村上智加子高教組委員長）に対し、「職員の定年年齢を65歳に段階的に引き上げる」内容の提案を行い、2023年4月施行に向け、9月議会に条例提案したい旨説明した。提案を受け地公闘は、労働者の立場から安心して働き続けられる環境整備に向け、交渉等の取り組みを進める。

度から、①特別調整額（管理職手当）の受給者、②①に準じる職員（行政職給料表6級相当の職（主幹・技術主幹等）を想定）は、降任又は転任を行う。職務の特殊性により欠員補充が困難な場合は、①・②の職に留任可。



▲定年延長について説明を受ける地公闘団



▲定年延長に対する提案を行う加藤人事課長（手前）

【定年年齢】  
●職員の定年年齢（現行60歳）を65歳に段階的に引き上げる。（図1参照）  
【60歳に達した職員の給与】  
●給料月額、60歳到達後最初の4月1日以降適用される給料表の給料月額の7割とする。

【期末・勤勉手当等の定率】  
●手当は7割を乗じた給料月額を基礎として算定する。  
●退職手当は、60歳以後の退職は自己都合退職であっても定年退職の支給率を適用する。（図2参照）

【定年雇用短時間勤務制の導入】  
●60歳に達した日以後に退職した職員を、定年年齢到達後の年度末（本来の定年退職時）までの間、定年前再任用短時間勤務職員として再任用することができ、勤務条件は現在の再任用短時間勤務職員と同じ。（週15時間30分、週31時間）

【職員への情報提供意思確認】  
●59歳に達する日の属する年度に60歳以降の勤務条件

### 第26回参議院議員選挙

## 比例代表「鬼木まこと」初当選!!

「きどぐち」氏議席に届かず



▲初当選を祝う万歳三唱の鬼木まこと（写真左から2番目）

6月22日公示、7月10日投票の参議院選挙で、比例代表「鬼木まこと」（新・自治労組織内）は、171,619票を獲得し、激戦を制した。自治労の代表として労働者の視点に立った政治での活躍を期待する。

「まこと」さんは「全国で約束したさまざまな課題の解決・実現に向けてのスタートラインに立つことができ、」と「声」と「力」を集めれば、必ず変えることができるという確信を共有したい。改めて、託されたものの大きさ、重さをしっかりと受け止め、それに応え得る努力を行って、「感謝」と決意を述べた。

### 県職労青年婦人部第57回定期大会

日時 2022年8月6日（土）10時30分～  
場所 「宮古市民総合体育館スポーツフォーラム棟3階大会議室」及び各支部書記局

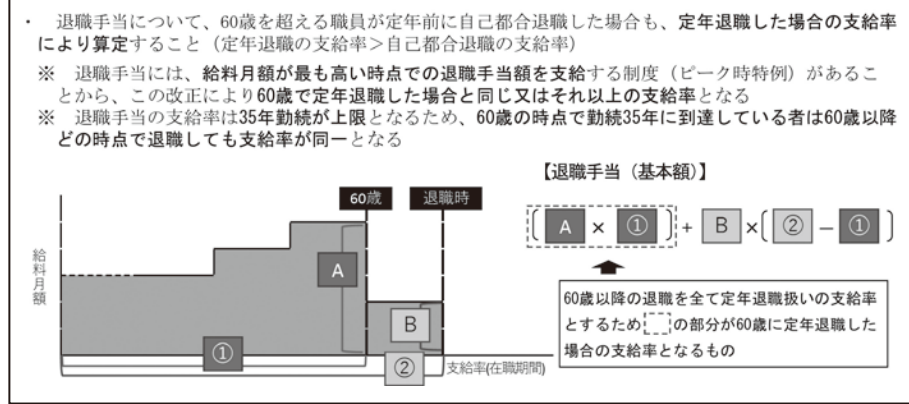
### 県職労現業評議会の動き

・知事あて要求書提出・人事課長交渉  
・管財課総括課長あて要請書提出  
・農林水産企画室長あて要請書提出  
・県土整備企画室長あて要請書提出  
日時：2022年7月25日（月）10時30分～  
場所：県庁舎内

【図1】生年月日別の定年引上げイメージ

Table showing the implementation of the R5.4 plan for raising the retirement age. The table lists birth dates (Year/Month/Day) and the corresponding retirement age. Annotations indicate that the current re-employment system is abolished, and that for those born on or after their 60th birthday, re-employment for a short-term period is possible.

【図2】退職手当（基本額）の算定イメージ



第五世代  
日配品はじめ、飲料水、これもあれも高くなってきた▼小麦に関しては政府売渡価格が昨年4月には5・5%、10月には19%、今年4月には17・3%、実はこの間の値上がりは日本が輸入している北米や豪州の不作が原因という。ロシアとウクライナで世界3割の小麦輸出を占めているが、日本はその地域から輸入していないとはいえ、世界の供給量が減った分、今年10月のさらなる価格の上昇は避けられない。一方で国産の小麦は過剰感があるようだ。理由は品質や収量も地域でばらつきが大きく品質調整が難しいという▼これから国内産を、と言ってもすぐに必要なものではない。いつでも買えるからと、農家の保護なり育成を怠たり、減反を推進し後継者問題に向かい合っていない。私もおも自農家の後継者先日、農家の知らないおじさん（私）とは知っているらしいに、「いつまで親父がやれると思う？そそろ何とかなければならぬのでは」と押された▼いずればと考えると早10年が経つ。私も無策ではいられない。物価高でも給料が上がらない現状、今回の選挙で未来が変わるだろうか。

# みんなでつくる職訓協活動!

## 職訓協第46回定期総会開催

7月2日、職業訓練職員協議会第46回定期総会が矢中町・産業技術短期大学校で開催され、2021年度の運動総括、2022年度の運動方針及び役員体制を確立した。



▲運動前進を誓った団結ガンパロー

開会に当たり、松尾議長は、「新たに5人の指導員が採用されたことは大変な前進だった。一方で総括課長級が上がった職員はおらず、今後県職労全体の行動と連携して勝ち取っていかねばならない。職場環境ではメンタルヘルスが大きな問題となってきた。休んでいる職員もいるし、立場の弱さを感じ組合に加入した会計年度任用職員もいる。不安があれば話を聞いてもらえる体制が大事だ。組合は、みんなで活動が原点だと思おうので、横に手をつないでやっていきたい。」

第11次再編整備計画では、現場から我々の声をどんどん上げていきたいと思ってる」とあいさつ。その後、小田嶋中央執行委員長が定年延長に関する状況報告と連帯の挨拶を行った。

執行部から、主管室との交渉についての報告と今後の職業能力開発行政を見据えた組織活動の強化、自治研活動を中心とした運動方針等が提起された。出席者からは、再編整備計画に関連した情報提供や方針補強の意見が出され、学生指導に関する情報交換も行われた後、活動方針が全会一致で確立された。

で確立された。

総会スローガンとして

「みんなでつくる職訓協活動!認めさせよう、職業能力開発行政の力と社会貢献を!」が採択され、最後に、齋藤裕之新議長の団結ガンパローで運動前進を誓い合った。

新役員体制は次のとおり。

議長

齋藤 裕之  
(産技短矢中校)



齋藤裕之議長

副議長 下堀 時男

(二戸高等技術専門学校)

事務局長 長門 三喜男

(産技短矢中校)

事務局長 鈴木 大輔

(宮古高等技術専門学校)

事務局次長 田中 俊行

(産技短矢中校)

自治研担当 佐々木 治

(産技短水沢校)

## 気仙支部第一回学習会を開催

### 休暇制度と共済について理解を深める

6月30日、気仙支部青年婦人部は「休暇と共済」について学習会を開催し、19人(新採用5人)が参加した。こくみん共済Coopから用語等の基礎知識から

死亡・入院の必要補償額の考え方、貯蓄方法などの説明を受けた。

休暇については、支部青年婦部佐々木書記長から、〇×クイズをしながら休暇制度や取得方法について学んだ。参加した新採用職員からは「基本的なことがわかってよかった。社会人になったら貯蓄を始めようと思っていたが、具体的な方法までは考えていなかった。とても参考になった」と「貯蓄は少額でも早くからコツコツと長く続けていくのがいいということが



▲気仙支部の学習会のようす

わかった。今度は様々な積立制度について知りたい」「休暇についてクイズ形式での答え合わせと解説がわかりやすかった。取得方法が複雑だったものもあり年次で対応したことがあったのでとても参考になった」という声がかかれた。支部では今後も学習会を開催していく予定。

## 一関・気仙・花巻・宮古・久慈支部が体制確立

役職・氏名は次のとおり。

### 一関支部

支部長 栗田 哲児 (農林振興センター)



### 副支部長

千葉 守 (農政普及センター)

守谷 康 (一関土木センター)

書記長 大谷 孝文 (保健福祉センター)

書記次長 播磨 基州 (県税センター)

### 執行委員

佐藤 敬 (農政普及センター)

村上 昭樹 (一関土木センター)

小野寺恒子 (養老センター)

尾形 哲哉 (児童相談所)

佐藤祐里江 (農林振興センター)

佐藤 嘉彦 (農村整備センター)

佐藤 剛教 (千厩土木センター)

会計監事 佐々木 勝 (一関土木センター)

佐々木春彦 (農村整備センター)

支部長 尾形 茂 (農政普及センター)

書記長 大谷 孝文 (保健福祉センター)

書記次長 播磨 基州 (県税センター)



### 副支部長

溝上賢太郎 (農林振興センター)

書記長 大槻 康幸 (農政普及センター)

書記次長 櫻井 秀明 (土木センター)

執行委員 佐々木律子 (水産振興センター)

多田 浩美 (農政普及センター)

東城 直貴 (土木センター)

鈴木 悠大 (農政普及センター)

小田 哲也 (保健福祉センター)

水本 歩 (農林振興センター)

### 会計監事

片寄 剛 (水産振興センター)

荒木まり奈 (保健福祉センター)

支部長 前川 伸也 (花巻土木センター)



副支部長 佐々木知正 (遠野農林振興センター)

書記長 中川 理恵 (花巻農林振興センター)

書記次長 小野 演彦 (総務・審査指導)

執行委員 川原 淳生 (花巻港事務所)

副議長

下堀 時男

(二戸高等技術専門学校)

事務局長 長門 三喜男

(産技短矢中校)

事務局長 鈴木 大輔

(宮古高等技術専門学校)

事務局次長 田中 俊行

(産技短矢中校)

自治研担当 佐々木 治

(産技短水沢校)

副支部長

多田野 修 (林務部)

支部長 北崎 秀典 (水産部)

書記長 深澤 明子 (農政普及センター)

書記次長 小野寺皓紀 (土木部)

執行委員 坂本 透信 (経営企画部)

坂本 亨 (保健福祉環境部)

関根 正則 (農政普及センター)

会計監事 小田 尚美 (保健福祉環境部)

桜庭 孝弘 (林務部)

久慈支部

中村 一也 (宮古土木センター)

飯田 光弘 (地域振興センター)

佐藤 貴浩 (宮古土木センター)

執行委員 小原 善一 (農政普及センター)

齋藤 理恵 (農林振興センター)

森 航大 (農政普及センター)

上野 美咲 (花巻農林振興センター)

支部長 高芝 俊雄 (農林振興センター)

副支部長 堀間 久己 (農林振興センター)

久慈支部

中村 一也 (宮古土木センター)

飯田 光弘 (地域振興センター)

佐藤 貴浩 (宮古土木センター)

執行委員 小原 善一 (農政普及センター)

齋藤 理恵 (農林振興センター)

森 航大 (農政普及センター)

上野 美咲 (花巻農林振興センター)

支部長 高芝 俊雄 (農林振興センター)

副支部長 堀間 久己 (農林振興センター)

## じちろうマイカー共済

自動車総合補償共済

自治労共済生協組合員なら

契約者=組合員で  
家族の車も

# 団体割引32.5%

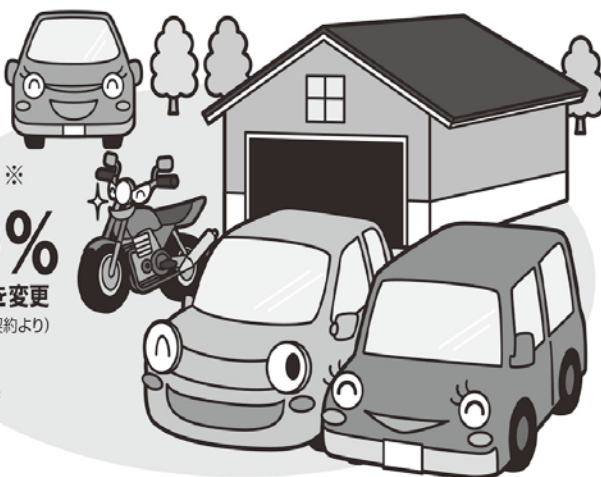
樹金体系変更による職域樹金の廃止に伴い割引率を変更  
2021年11月更新契約より(新規契約は2021年10月効力開始契約より)

主たる被共済者になれる方

- 1 組合員本人
- 2 組合員の配偶者
- 3 組合員の同居の親族\*
- 4 組合員の配偶者の同居の親族\*

\*別居の未婚の子も含まれます。

現在ご加入の保険(共済)の適用等級や過去履歴によっては、契約をお引き受けできない場合があります。  
\*団体割引は、車種や補償内容により割引率が異なる場合があります。また、毎年11月時点の実績により変動することがあります。



こくみん共済 NEWS

5121A014

契約にあたってはパンフレットをご覧ください  
不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

こくみん共済(全労済)

自治労共済 推進本部

全日本自治労業者共済生活協同組合

自治労共済推進本部は「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。

「こくみん共済 0000」は営利を目的としない、保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神に基づき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

### 【お詫びと訂正】

6月30日号機関紙4面「核廃絶と平和な社会実現のために」の記事で、掲載した

写真が「盛岡支部組合員」となっていました。訂正し、掲載した「県庁支部組合員」です。お詫び訂正します。